

**第 6 期北九州市障害福祉計画・第 2 期北九州市障害児福祉計画の
目標等の管理シート**

担当部局	保健福祉局 障害福祉部
------	-------------

成果目標	(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行
-------------	------------------------------

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標値	<p>○令和 5 年度末までの目標値</p> <p>ア 施設入所者の地域生活移行 令和 5 年度末において、令和元年度末の施設入所者数の 6%以上が地域生活へ移行することを目標とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">令和元年度末の施設入所者数（実績）</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">1, 3 5 6 人</td> <td rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">} 6%以上移行</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度の地域生活への移行（目標）</td> <td style="text-align: center;">8 2 人以上</td> </tr> </table> <p>イ 施設入所者数の削減 令和 5 年度末の施設入所者数を令和元年度末時点の 施設入所者数から 1. 6%以上削減することを目標とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">令和元年度末の施設入所者数（実績）</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">1, 3 5 6 人</td> <td rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">} 1. 6%以上減員</td> </tr> <tr> <td>令和 5 年度末の施設入所者数（目標）</td> <td style="text-align: center;">1, 3 3 4 人以下</td> </tr> </table> <p>【目標値の考え方】 地域生活への移行を進める観点から、令和元年度末時点の施設に入所している障害のある人のうち、今後、自立訓練事業等を利用し、グループホーム、一般住宅等に移行する人の数を見込み、その上で、令和 5 年度末における地域生活に移行する人の目標値を設定。</p>	令和元年度末の施設入所者数（実績）	1, 3 5 6 人	} 6%以上移行	令和 5 年度の地域生活への移行（目標）	8 2 人以上	令和元年度末の施設入所者数（実績）	1, 3 5 6 人	} 1. 6%以上減員	令和 5 年度末の施設入所者数（目標）	1, 3 3 4 人以下
令和元年度末の施設入所者数（実績）	1, 3 5 6 人	} 6%以上移行										
令和 5 年度の地域生活への移行（目標）	8 2 人以上											
令和元年度末の施設入所者数（実績）	1, 3 5 6 人	} 1. 6%以上減員										
令和 5 年度末の施設入所者数（目標）	1, 3 3 4 人以下											

計画 (P) ↓ 実施 (D)	活動指標 (内容)	<p>○活動指標等の一覧（実績）[利用者数：月平均利用人数（人/月）、利用時間数：月平均利用延べ時間（時間/月）、利用日数：月平均利用延べ日数（日数/月）]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">居宅介護・重度訪問介護 同行援護・行動援護・ 重度障害者等包括支援</td> <td rowspan="2">利用者数</td> <td>見込</td> <td>2, 018 人</td> <td>2, 050 人</td> <td>2, 082 人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2, 054 人</td> <td>2, 107 人</td> <td>2, 188 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用時間数</td> <td>見込</td> <td>48, 832 時間</td> <td>50, 502 時間</td> <td>52, 171 時間</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>50, 914 時間</td> <td>53, 333 時間</td> <td>58, 394 時間</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">生活介護</td> <td rowspan="2">利用者数</td> <td>見込</td> <td>2, 920 人</td> <td>2, 930 人</td> <td>2, 940 人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2, 958 人</td> <td>2, 960 人</td> <td>2, 982 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用日数</td> <td>見込</td> <td>59, 557 人日</td> <td>60, 300 人日</td> <td>61, 044 人日</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>61, 464 人日</td> <td>61, 287 人日</td> <td>62, 772 人日</td> </tr> </tbody> </table>				R 3	R 4	R 5	居宅介護・重度訪問介護 同行援護・行動援護・ 重度障害者等包括支援	利用者数	見込	2, 018 人	2, 050 人	2, 082 人	実績	2, 054 人	2, 107 人	2, 188 人	利用時間数	見込	48, 832 時間	50, 502 時間	52, 171 時間	実績	50, 914 時間	53, 333 時間	58, 394 時間	生活介護	利用者数	見込	2, 920 人	2, 930 人	2, 940 人	実績	2, 958 人	2, 960 人	2, 982 人	利用日数	見込	59, 557 人日	60, 300 人日	61, 044 人日	実績	61, 464 人日	61, 287 人日	62, 772 人日
			R 3	R 4	R 5																																									
居宅介護・重度訪問介護 同行援護・行動援護・ 重度障害者等包括支援	利用者数	見込	2, 018 人	2, 050 人	2, 082 人																																									
		実績	2, 054 人	2, 107 人	2, 188 人																																									
	利用時間数	見込	48, 832 時間	50, 502 時間	52, 171 時間																																									
		実績	50, 914 時間	53, 333 時間	58, 394 時間																																									
生活介護	利用者数	見込	2, 920 人	2, 930 人	2, 940 人																																									
		実績	2, 958 人	2, 960 人	2, 982 人																																									
	利用日数	見込	59, 557 人日	60, 300 人日	61, 044 人日																																									
		実績	61, 464 人日	61, 287 人日	62, 772 人日																																									

計画 (P) ↓ 実施 (D)

活動指標 (内容)

			R 3	R 4	R 5
自立訓練 (機能訓練)	利用者数	見込	15 人	16 人	17 人
		実績	9 人	8 人	11 人
	利用日数	見込	328 人日	352 人日	375 人日
		実績	184 人日	149 人日	233 人日
自立訓練 (生活訓練)	利用者数	見込	185 人	185 人	185 人
		実績	196 人	193 人	195 人
	利用日数	見込	3,900 人日	3,900 人日	3,900 人日
		実績	3,761 人日	3,474 人日	3,580 人日
就労移行支援	利用者数	見込	365 人	367 人	368 人
		実績	382 人	368 人	356 人
	利用日数	見込	6,377 人日	6,431 人日	6,486 人日
		実績	6,814 人日	6,693 人日	6,384 人日
就労継続支援 (A型)	利用者数	見込	1,011 人	1,020 人	1,028 人
		実績	1,033 人	1,121 人	1,217 人
	利用日数	見込	21,345 人日	21,655 人日	21,924 人日
		実績	21,689 人日	24,050 人日	25,718 人日
就労継続支援 (B型)	利用者数	見込	2,612 人	2,667 人	2,714 人
		実績	2,766 人	3,037 人	3,264 人
	利用日数	見込	45,064 人日	46,100 人日	47,000 人日
		実績	48,646 人日	54,763 人日	60,596 人日
就労定着支援	利用者数	見込	140 人	145 人	150 人
		実績	137 人	138 人	141 人
福祉型短期入所	利用者数	見込	493 人	505 人	518 人
		実績	399 人	385 人	427 人
	利用日数	見込	2,812 人日	2,890 人日	2,970 人日
		実績	2,831 人日	2,695 人日	2,765 人日
医療型短期入所	利用者数	見込	75 人	75 人	75 人
		実績	62 人	71 人	79 人
	利用日数	見込	428 人日	428 人日	428 人日
		実績	330 人日	366 人日	413 人日
自立生活援助	利用者数	見込	3 人	6 人	9 人
		実績	0.3 人	0.1 人	0 人
共同生活援助 (グループホーム)	利用者数	見込	1,410 人	1,480 人	1,550 人
		実績	1,500 人	1,617 人	1,740 人
施設入所支援	利用者数	見込	1,349 人	1,342 人	1,334 人
		実績	1,323 人	1,311 人	1,297 人
計画相談支援	利用者数	見込	9,150 人	9,450 人	9,750 人
		実績	9,276 人	9,745 人	10,373 人
地域移行支援	利用者数	見込	40 人	45 人	50 人
		実績	28 人	21 人	29 人
地域定着支援	利用者数	見込	40 人	45 人	50 人
		実績	42 人	46 人	46 人

評価 (C) ↓ 改善 (A)	R3年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	<p>【本市の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年度末現在では、 <li style="padding-left: 20px;">ア 地域生活に移行した人数は41人 (3%) ※目標値：令和5年度末で82人 (6%以上) が移行 <li style="padding-left: 20px;">イ 施設入所者数は1,317人 (2.9%減) ※目標値：令和5年度末で1,334人以下 (1.6%以上減員) となっています。 <p>【主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所者の高齢化に伴い、入院や介護保険移行を理由とする退所が多くなり、施設入所者は減っている状況です。 <p>【今後について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。 <p style="text-align: center;">施設入所者の年齢階層別人数 (国保連データ)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th colspan="3">北九州市</th> </tr> <tr> <th>平成25年8月</th> <th>令和4年3月</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40歳未満</td> <td style="text-align: center;">27.5%</td> <td style="text-align: center;">17.4%</td> <td style="text-align: center;">10.1%減</td> </tr> <tr> <td>40歳以上65歳未満</td> <td style="text-align: center;">56.5%</td> <td style="text-align: center;">59.4%</td> <td style="text-align: center;">2.9%増</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td style="text-align: center;">16.0%</td> <td style="text-align: center;">23.2%</td> <td style="text-align: center;">7.2%増</td> </tr> </tbody> </table>	年齢区分	北九州市			平成25年8月	令和4年3月	増減率	40歳未満	27.5%	17.4%	10.1%減	40歳以上65歳未満	56.5%	59.4%	2.9%増	65歳以上	16.0%	23.2%	7.2%増
	年齢区分	北九州市																				
		平成25年8月	令和4年3月	増減率																		
40歳未満	27.5%	17.4%	10.1%減																			
40歳以上65歳未満	56.5%	59.4%	2.9%増																			
65歳以上	16.0%	23.2%	7.2%増																			
協議会等意見 【評価等に対する意見】	特になし																					
改善 (A) 【次年度における取組等】	引き続き、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。また、地域で安心して生活できるように相談支援体制の充実を図るとともに、国に対して、事業所の施設整備に対する財政措置や運営体制に配慮した報酬の引き上げ等の要望を行います。																					
評価 (C) ↓ 改善 (A)	R4年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	<p>【本市の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和4年度末現在では、 <li style="padding-left: 20px;">ア 地域生活に移行した人数は57人 (4.2%) ※目標値：令和5年度末で82人 (6%以上) が移行 <li style="padding-left: 20px;">イ 施設入所者数は1,313人 (3.2%減) ※目標値：令和5年度末で1,334人以下 (1.6%以上減員) となっています。 <p>【主な要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設入所者の高齢化に伴い、入院や介護保険移行を理由とする退所が多くなり、施設入所者は減っている状況です。 <p>【今後について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。 																			

評価 (C) ↓ 改善 (A)	R5年度		施設入所者の年齢階層別人数 (国保連データ) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th colspan="3">北九州市</th> </tr> <tr> <th>平成 25 年 8 月</th> <th>令和 5 年 3 月</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40 歳未満</td> <td>27.5%</td> <td>16.7%</td> <td>10.8%減</td> </tr> <tr> <td>40 歳以上 65 歳未満</td> <td>56.5%</td> <td>59.2%</td> <td>2.7%増</td> </tr> <tr> <td>65 歳以上</td> <td>16.0%</td> <td>24.1%</td> <td>8.1%増</td> </tr> </tbody> </table>	年齢区分	北九州市			平成 25 年 8 月	令和 5 年 3 月	増減率	40 歳未満	27.5%	16.7%	10.8%減	40 歳以上 65 歳未満	56.5%	59.2%	2.7%増	65 歳以上	16.0%	24.1%	8.1%増
		年齢区分	北九州市																			
			平成 25 年 8 月	令和 5 年 3 月	増減率																	
40 歳未満	27.5%	16.7%	10.8%減																			
40 歳以上 65 歳未満	56.5%	59.2%	2.7%増																			
65 歳以上	16.0%	24.1%	8.1%増																			
協議会等意見 【評価等 に対する 意見】	特になし																					
改善 (A) 【次年度 における 取組等】	引き続き、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。また、地域で安心して生活できるように相談支援体制の充実を図るとともに、国に対して、事業所の施設整備に対する財政措置や運営体制に配慮した報酬の引き上げ等の要望を行います。																					
		評価 (C) 【目標等 を踏まえ た評価、改善 方策】	【本市の状況】 ○ 令和元年度の施設入所者数と比較して、令和 5 年度末現在では、 ア 地域生活に移行した人数は 71 人 (5.2%) ※目標値：令和 5 年度末で 82 人 (6%以上) が移行 イ 施設入所者数は 1,292 人 (4.7%減) ※目標値：令和 5 年度末で 1,334 人以下 (1.6%以上減員) となっています。 【主な要因】 ○ 施設入所者の高齢化に伴い、入院や介護保険移行を理由とする退所が多くなり、施設入所者は減っている状況です。 【今後について】 ○ 今後も、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。 施設入所者の年齢階層別人数 (国保連データ) <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th colspan="3">北九州市</th> </tr> <tr> <th>平成 25 年 8 月</th> <th>令和 6 年 3 月</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40 歳未満</td> <td>27.5%</td> <td>16.8%</td> <td>10.7%減</td> </tr> <tr> <td>40 歳以上 65 歳未満</td> <td>56.5%</td> <td>58.0%</td> <td>1.5%増</td> </tr> <tr> <td>65 歳以上</td> <td>16.0%</td> <td>25.2%</td> <td>9.2%増</td> </tr> </tbody> </table>	年齢区分	北九州市			平成 25 年 8 月	令和 6 年 3 月	増減率	40 歳未満	27.5%	16.8%	10.7%減	40 歳以上 65 歳未満	56.5%	58.0%	1.5%増	65 歳以上	16.0%	25.2%	9.2%増
年齢区分	北九州市																					
	平成 25 年 8 月	令和 6 年 3 月	増減率																			
40 歳未満	27.5%	16.8%	10.7%減																			
40 歳以上 65 歳未満	56.5%	58.0%	1.5%増																			
65 歳以上	16.0%	25.2%	9.2%増																			
		協議会等意見 【評価等 に対する 意見】	○ 同行援護の支援の利用者がボランティアに流れてきていると感じている。計画を策定する際の活動指標の見込について、実績数が、かなり見込を超えてきている。見込が増えてくると、事業所負担になり、その結果、支援ができず、ボランティアの方に流れてくる。そのため、計画を立てる際に、見込の精度向上をお願いする。また、各事業所へも、許容できる目標であるのかどうか確認いただければと思う。																			

		<p>○ 相談支援体制について、数値的には評価されていたと思うが、数字に隠れた部分で悩みを抱えている方が結構いると思う。例えば、発達障害のことが挙げられているが、仕事を探してやっと職について障害者枠で採用されて、何とか軌道に乗ってやっていて、意欲的にもっと時間を増やしたいところだが、会社としては、社会保険に加入できないところで留められる事例もある。住まいのところでも、入居できて生活はしている、目の見えない人が住んでいたらいつ火事を起こすか怖いから、障害者の人は出て行ってほしいとか、障害のある人とは住みたくないとか、よく言われている。でも、生活していかないといけないので、良好な関係を保ちたいから、我慢しているというような悩みを聞くこともある。相談支援体制は、今、基幹相談支援センターが役割を担っていると思うが、発達障害の方は慣れた担当者が代わって引き継ぎがされていない場合、もう相談できない状況になっていると感じてしまうので、相談体制の強化が大切と感じている。</p>
	<p>改善 (A) 【次年度 における 取組等】</p>	<p>引き続き、地域における受け皿づくり、相談支援体制の充実、訪問・日中系サービスの一層の充実を図ります。また、地域で安心して生活できるように相談支援体制の充実を図るとともに、国に対して、事業所の施設整備に対する財政措置や運営体制に配慮した報酬の引き上げ等の要望を行います。</p> <p>なお、第7期北九州市障害福祉計画（令和6～8年度）では、訪問系サービスについてもサービスごとに見込を積算していますので、引き続き見込と実績の比較、分析を行ってまいります。</p>